

化学療法注射箋 (Lu-084 キイトルーダ+CBDCA+アブラキサン療法 (導入療法) (イメンドVer.)

※プラチナ製剤併用療法4コースまで

4コース以降は維持療法へ

【レジメン】

day1 キイトルーダ 200mg/body

day1,8,15 アブラキサン 100mg/m<sup>2</sup>

day1 カルボプラチン AUC=5・6

上記を3週毎に繰り返す。

カルボプラチン投与量=AUC x(Ccr xBSA/1.48+25)

※カルボプラチンの最大投与量はAUC×150までとすること。

AUC	2	3	4	5	6
最大投与量(mg)	300	450	600	750	900

Cockcroft-Gault式

$$\text{Ccr(mL/min)} = (140 - \text{年齢}) \times \frac{\text{体重(kg)}}{72} \times \frac{1}{\text{Scr(mg/dL)}}$$

女性の場合、Ccrに0.85をかける。

【本レジメンのルール】

・CBDCA+アブラキサン由来の副作用発現時には、CBDCA+アブラキサンのみ延期とし、キイトルーダの投与は原則3週間毎とする。

【治療内容】

□キイトルーダ

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 ( / )	□① 生食50mL	点滴	プライミング用の点滴です。	15分
	□② キイトルーダ ( ) mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。 *フィルター付輸液セット使用	30分
	□③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分

□CBDCA+アブラキサン

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 ( / )	□④ (1.イメンド125mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	
	□⑤ (2.デキサート6mg+ アロキシバグ50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	□⑥ (3.アブラキサン ( ) mg+ *生食 ( ) mL	点滴	治療薬です。	30分
	□⑦ (4.生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	□⑧ (5.カルボプラチン ( ) mg+ 5%ブドウ糖液250mL	点滴	治療薬です。	60分
	□⑨ (6.生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day2 ( / )	□① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
	□② デカドロン0.5mg 4錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	朝食後
	□③ デカドロン0.5mg 4錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	夕食後
day3 ( / )	□① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
	□② デカドロン0.5mg 4錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	朝食後
	□③ デカドロン0.5mg 4錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	夕食後
day8 ( / )	□① デキサート8mg+生食50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	□② アブラキサン ( ) mg+ *生食 ( ) mL	点滴	治療薬です。	30分
	□③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day15 ( / )	□① デキサート8mg+生食50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	□② アブラキサン ( ) mg+ *生食 ( ) mL	点滴	治療薬です。	30分
	□③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分

【化学療法に関わる指示】

嘔気時：□メトクロプラミド ( ) A 静注およびデキサート ( ) mg 静注 ※配合変化のため混合しない  
上記効果が不十分な場合

□オランザピンOD錠5mg 1錠内服 (1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：□コントミン10mg 1A 筋注 □メトクロプラミド1A静注

国立病院機構函館病院 呼吸器科

平成31年1月